

アイデアいっぱい 「安全・確実・迅速」のための高い技術力。

鋼材輸送を柱に一般貨物輸送も行う角田運送株式会社は、「地域に密着した 愛され 信頼される 会社を目指す」を社是に、昭和 37 年 4 月の設立から今年で 56 年目を迎える。



「Gマーク」ラッピングトラックに 2 台協力している。同社のイメージカラー、「モリブレッドオレンジ」にしてトラックを目立つようにしてから、劇的に事故も減ったという

独自発想の「V字溝」と「ウイングトレーラ」

会社としての始まりは昭和 32 年。角田正一代表取締役のご尊父、故・貞二氏が、個人で建材業を開始したことから。44 年には角田運送株式会社に組織変更し、同時に千葉縣市川市高谷の現在の社屋所在地に本社を移して、今年で 50 年が経つ。早稲田大学在学中は自動車部に在籍した「車好き」「機械好き」な角田社長。整備部門は現在独立して別法人だが、もともとは運送事業の一部として発達。自社に整備工場を保有するからこそ、自由度も高く自主製作車両も多かった。

「私も含めて現場のドライバー達は、常に、どうしたら『安全に、効率よく仕事が上手いくか』を考え、改善のためのアイデアを出し合っていました。その案が良ければ、私もすぐに採用して安全で効率のよい作業スタイルをどんどん構築していきました。その最たるものが、『V字溝』と『ウイングトレーラ』です」(角田社長)

鋼板をロール状に丸めてある材料を「コイル材」と



角田 正一 代表取締役は、現在千葉県トラック協会の会長も務める

いい、従来、コイル材は、トレーラシャーシ平面に固定して輸送していた。安全のためには、しっかりと固縛・据え付けする必要があるが、ある日、角田社長は「もっと安全・確実に運べる方法はないか」と考え、ドライバー達とアイデアを出し合い、そこから生まれたのが「V



トレーラに施されたV字の溝がコイル材の安定を生む



蓋をすれば、通常の平ボディシャーシとして使用できる



V字溝トレーラに積載され出発を待つ
のみのコイル材。トレーラシャーシには
転落防止のガードも施されている

字溝」のトレーラシャーシだ。
トレーラシャーシ中心にV字の溝を掘る構造で、V字にコイル材を積載することで、コイル材の重心が低くなるとともに、V字溝がコイル材を抱え込み、左右の揺れに強くなる。ただの平シャーシ積載していた時より、確実かつ安全に輸送することが可能になったうえ、作業面でも効率的だ。さらには、V字溝に蓋をすることで、通常の平シャーシとして様々な鋼材の輸送にも活用できる工夫もした。

一方、「ウイングトレーラ」も必要に迫られて誕生した。かつて成田空港の通関業務が市川市の原木地区で行われていた時は、同社でも航空貨物を多く取り扱っており、当初は大型トラックのドライバンでピストン輸送を行っていた。貨物量が増加するにつれて、単車からトレーラへ大型化して対応したが、次第に貨物量がさらに増大。そのため、同社では、積込み地と荷卸し地に作業員を配置し、ドライバーは運転業務に専念して、荷役作業を完全に分離するシステムで対応した。現在では、働き方改革の一環として、ドライバーと荷役を分離し、待機時間等の削減を図り長時間労働の改善策として同様の手法が

用いられているが、この当時は、とにかく「航空便へ時間通りに確実に輸送する」ことが目的だった。しかし、このスタイルは今の働き方改革にも繋がる、先進的で画期的な取り組みだった。なお、この後も貨物量の増大は続き、さらに荷役時間を削減するため、トレーラをウイング化し、積み御し作業の効率を一気に向上させて対応したのだった。

「今でこそ、V字溝もウイングトレーラも当たり前になっていますが、これらは当時、安全・確実・迅速を追求していくうちに、必要に迫られて弊社が独自に開発したものです。こうした前向きな姿勢がお客様の信頼を得て、お付き合い開始から50年になろうとするお客様もいらっしゃいます。お客様の信頼・信用を得るために、真摯に『安全・安心で高い輸送技術』を追求し、求められれば『惜しみなく提供する』。そうした姿勢が、お客様や地域の方々に理解を得ているのかも知れません。今後も環境への配慮、遵法精神を貫いてお客様と地域に愛される企業として精進していく所存です」(同)

ホットにゆーす

若い発想やパワーに期待

弊社は、整備工場もあり、また車好きの技術屋も揃っているため、昔からアイデアが飛び交い、活気あふれる職場でした。我々の仕事は、もともとの車好きが高じて『趣味が仕事』になっていったりするものですが、最近の若年者では、車好きが少なくなり、免許人口も減っていると聞きます。その中でも、弊社関連の自動車整備会社には、勤続4年半の栗澤佑という若い女性整備士が在席しています。彼女には、我々にはない若い発想と実行力で、弊社に新風を巻き起こしてもらいたいと期待しています。(角田社長)



期待の女性整備士、栗澤佑さんと角田社長

企業プロフィール

角田運送株式会社

代表取締役 角田 正一
千葉県市川市高谷 1841
資本金 1,000万円
従業員 30人
台数 27台